

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年4月18日（火）

2 調査対象 第6学年児童16名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 児童質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を上回りました。
算数は、全国平均をやや下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 将来の夢や目標を持っていますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

課題が見られた項目

- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 普段、一日あたりどれくらいの時間 PC・タブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っていますか。
- 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

5 学力向上の取組

今回の調査結果では、情報を正確に読み取る力、理論づけて考え表現する力について課題が見られました。この結果を受けまして本校では今後、以下の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 各教科等の授業において、リーディングスキル（文章に書かれている意味を正確にとらえる力）を視点とした授業改善を図る。
- ・ プログラミング学習を中心に各教科において、ロジカルシンキング（論理的なつながりを捉えながら物事を理解する思考法）を用いた学習過程の工夫をする。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 家庭学習について
 - ・本校で配付している家庭学習の手引きを活用し、学年に見合った家庭学習時間の確保をするとともに、タブレット等を活用した学習方法の取り組みを行う。

- 読書について
 - ・学校司書と連携し本の紹介を通して「人を通して本を知る。本を通して人を知る」経験の場を確保するので、家庭においては親子読書週間を通して語彙力の発達や想像力、集中力、情緒面の成長を図る。

- 家庭・地域社会との連携
 - ・地域行事に積極的に参加するとともに高平生涯学習センターとも連携し、豊かな体験活動の充実を図る。